

# アタック水中グラウト 標準施工要領書



—High-Quality & Trust—  
テクノスジャパン株式会社

## 「アタック水中グ ラウト」の標準施工要領について

★「アタック水中グ ラウト」は、水中での施工を対象としています。(気中構造物及び将来、気中に出ることが予測される箇所への施工は、対象外となります。)

### 1、「アタック水中グ ラウト」の作業手順

#### (1) コンクリート躯体の下地処理

施工箇所の脆弱部及び藻・苔類は、Eアクト、高圧水及び水中ポンプ等で除去し清掃して下さい。(必ず、確認して下さい。)

#### (2) 型枠の設置

- 1) 型枠は、グラウト材が漏れないように設置し組み立てて下さい。
- 2) グラウト材の注入圧力等により変形しないように堅固に組み立てて下さい。
- 3) 型枠にパイプ・ホース等を用いて注入口及び流出口を取り付け、注入口から間隙部へ連続して注入し充填して下さい。

#### (3) 攪 拌

【標準配合 アタック水中グ ラウト/水=20kg/7.5kg】

練り混ぜは、機械練り(ハンドミキサまたはグラウトミキサ)で行い、2分間以上均一に練り混ぜて下さい。

グラウト材の練り上がり温度は、10℃～35℃の範囲となるように調整して下さい。

##### 1)ハンドミキサの場合

練り混ぜ容器に使用水量を全量投入し、次にミキサの羽根を回転させながらグラウト材を徐々に投入し、2分間以上均一に練り混ぜて下さい。

## 2) グラウトミキサの場合

グラウトミキサに最初に 1 回で練り混ぜるグラウト材の数量分の使用水量を全量投入し、次にミキサの羽根を回転させながらグラウト材を徐々に投入し、投入完了後 2 分間以上均一に練り混ぜてください。

## (5) 注入・充填

水中での施工は、原則として静水中(流速 5cm/s 程度以下)で行ってください。やむを得ず流水中で施工する場合には、グラウト材が流出しないように保護シート等で防護してください。

施工時には、巻き込みエアが入らないように、静かに注入してください。ホッパーまたはポンプを用いて注入・充填してください。

なお、ポンプを用いて注入する場合は、スクイズ式またはスネーク式のモルタルポンプを使用してください。また、グラウト材の圧送性を良好にするためにホースに水ならびにセメントペーストを通してください。次に、セメントペーストがホース先端から完全に排出され、グラウト材が出てきた後、注入口から間隙部へ連続して注入し充填してください。注入は、流出口からグラウト材が流れ出るまで空気が残らないように行ってください。

## (6) 養生

流水及び波等の影響を直接受ける場合には、グラウト材が流出したり洗掘されないように表面をシートで覆う等の保護をしてください。

## 2、使用上の注意事項

- 1) 粉体の取扱いは、セメントに準じて行ってください。
- 2) 破袋または開封後、放置した製品は使用しないでください。
- 3) 練り混ぜ水には、上水道水を使用してください。
- 4) 製品の保管は、5℃以上、35℃以下の室内としてください。
- 5) 取扱いに関する詳細な注意事項は、製品安全データシート(MSDS)をご参照ください。

注) 水中落下をさせれば品質が低下する傾向にあり、出来る限り水中落下させないように施工してください。